

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	地域子育て支援推進事業		
事業担当	健康・こども部 保育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	児童福祉法第21条の8、次世代育成支援対策推進法第4条、少子化社会対策基本法第4条		
対象・受益者	地域の子育て家庭、中高生、地域住民(高齢者)	事業期間	
委託、協働	【委託：○3セク・財団 企業 NPO その他】【協働：】		
	目的・目標		事業の概要
子育て家庭の育児不安を解消し、精神的な安心感がもたらされています。		地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため、子育て支援センター事業やつどいの広場事業を推進します。また、地域で行う子育て支援活動等に保育士等を派遣します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	実施施設数			単位	箇所
	説明・算定式	子育て支援センター及びつどいの広場の箇所数の合計				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	4	4	4	4	
	実績	4	4	4		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	利用者数			単位	人
	説明・算定式	延べ利用者数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	45000	56000	56000	56000	
	実績	55683	56237	58777		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
子育て支援センター事業及びつどいの広場事業等を実施したことにより、子育てに不安や疑問を持つ子育て中の親に対する相談・援助を行いました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	子育て支援に対する市民ニーズは高く、子育て家庭のニーズを的確に捉え、ニーズに適応した事業運営を行うことが必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	子育て家庭のニーズに適応した子育て支援を行い、安心して子どもを産み育てられる事業運営を行っています。事業の継続により、より多くの子育て中の親子の満足が高まっていることから、有効性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	子育て家庭のニーズに適応した子育て支援を行うことは、事業の目的を達成するために妥当性が高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	つどいの広場を増設し、更に効率性を高めていく必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		つどいの広場において提供している親子や親同士の交流の場については、ニーズが高くなっています。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		子育て支援センター、つどいの広場事業の実施	支援の実施	支援の実施	支援の充実
財源内訳	国庫支出金	11,441	9,679	0	0
	県支出金	3,780	0	9,850	13,133
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	24,996	30,312	31,051	31,586
事業費 (A)		40,217	39,991	40,901	44,719
執行率 (%)		99.64	98.68	93.34	
内訳	職員 (人)	1.15	0.85	0.75	1.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.05	0.05
	人件費 (B)	9,320	6,813	6,132	7,986
フルコスト (A+B)		49,537	46,804	47,033	52,705

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針	需要に対応するため、つどいの広場の増設に向けて検討していきます。
課長コメント	子育て支援センター、つどいの広場において提供している親子や親同士の交流の場については、ニーズが非常に高いため支援を継続します。